

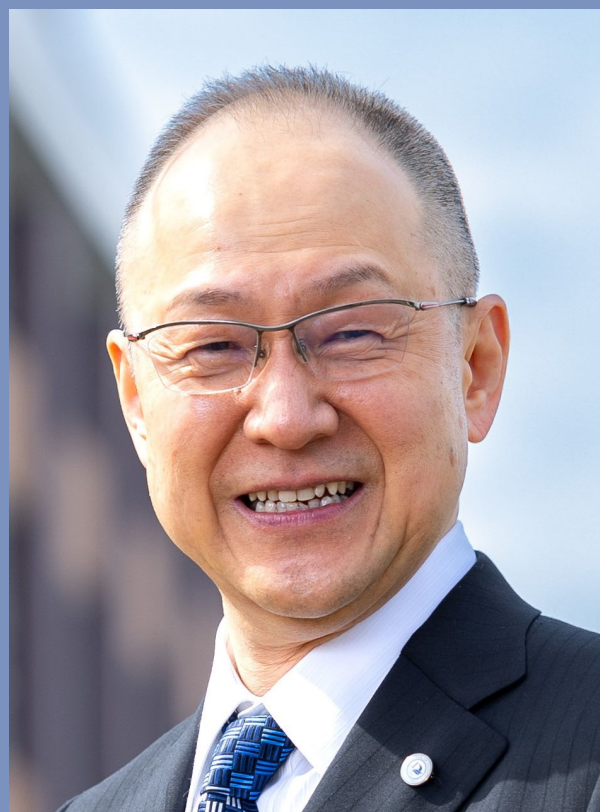
高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

演題：

リアルワールドデータを
活用した口腔と健康長寿
との関係の検討

講師：大阪大学大学院歯学研究科
有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座
池邊一典 教授



日時：2025年1月6日(月) 17:30～19:00

場所：D棟4階 演習室

要旨：

これまで我々は約3000人の高齢者を対象として、医学・歯学・栄養学・心理学・社会学が協働して健康長寿の要因を探索する研究を進めてきた。その結果、口腔機能の低い人は、動脈硬化・フレイルを発症し、認知機能が低下しやすいことを明らかにした。

しかし会場調査型のコホート研究では、対象が比較的健康な人に限られ、要介護者や死亡を追えない。そこで現在、大阪府の約20万人の後期高齢者の歯科・医療・介護のビッグデータを用いた研究を進めている。その結果、歯の数と死亡や要介護度との間の驚くべき量反応関係や状態の悪い義歯の使用が死亡リスクを高める可能性を示した。

今回は、コホート研究とリアルワールドデータを用いた研究を対比させ、口腔と健康長寿との関係をお話ししたい。